

2025年度

# 全国教育・保育研究大会

## 開催要項

「すべての子どもの権利と育ちを保障していく  
社会の実現」をめざして  
～子どもと保護者と保育者の現在と未来を支える～

### 趣旨

想定をはるかに超える少子化による入園児の急激な減少や保育人材の確保難に加え、国が公表した「保育政策の新たな方向性」では、これまでの「待機児童対策を中心とした量の拡大」から「質の高い保育の確保・充実」「全てのこどもの育ちと子育て家庭の支援」等に政策の方向が転換されるなど、いま、保育は大きな転換期を迎えています。

そうした状況のなか、わたしたち教育・保育関係者は、自園が置かれている環境に適切に対応するとともに、すべての子どもの最善の利益を保障すべく、保育の質の向上を常に意識しなければなりません。そして、保育所・認定こども園等が子ども・子育て支援に欠かすことのできない社会資源として、社会や地域の人々からさらなる信頼と支持を得る必要があります。

全国保育協議会および全国保育士会の研究大会はそれぞれに実績を積み重ねてきましたが、今後の保育について、施設運営・保育実践の両面から考え、研究大会の質をさらに向上させるべく、大会を一本化し、2025年度の東京大会から、「全国教育・保育研究大会」として開催します。

定員 2,000名

- 保育所・認定こども園等関係者、保育行政関係者、保育士養成関係者、社会福祉協議会・保育協議会関係者等
- 保育・子育て支援に関心のある皆さま（学生、一般の方も参加いただけます）

### 主催

全国社会福祉協議会・全国保育協議会（第68回大会）／  
全国保育士会（第58回大会）  
関東ブロック保育協議会、関東ブロック保育士会、  
東京都社会福祉協議会保育部会、東京保育士会  
（実施主体：全国保育協議会、全国保育士会、  
東京都社会福祉協議会保育部会、東京保育士会）

### 後援

こども家庭庁、東京都、東京都社会福祉協議会《予定》

### 参加費

会 員：20,000円  
会員でない方：25,000円  
学 生：5,000円

※会員とは「全国保育協議会（講読会員含む）」もしくは「全国保育士会」の会員になります。

### 期日と会場

令和7年

11月20日（木）～21日（金）

全体会会場（初日） 東京国際フォーラム  
分科会会場（2日目） TKP市ヶ谷カンファレンスセンター、  
飯田橋レインボービル 他

※詳細は4ページ以降の分科会内容をご参照ください。

# 日 程

	9時	10時	11時	12時	13時	14時	15時	16時	17時
<b>11月20日</b> (木)				受付 11:30～ オープニング アトラクション 12:30～	開会式 式典	休憩	行政説明 基調報告 他	記念公演	次期開催地あいさつ

<b>11月21日</b> (金)	受付	分科会 第1分科会～第12分科会	閉会	
-------------------	----	---------------------	----	--

※第11分科会（開催地分科会）のみスケジュールが異なります（6ページ参照）。

## 第1日 11月20日(木) 13:00～17:30

11:30～	受付
12:30～	<p><b>オープニングアトラクション</b> 「光バンドによる演奏会」 ～社会福祉法人東京光の家 光バンド～</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>光バンドは、東京都日野市にある、社会福祉法人東京光の家で生活する視覚障害と他の障害をあわせもつ、<small>もつちようかくしょうがい</small> 多重障害の人で構成するバンドです。東京光の家はSDGs支援事業として光バンドを通して、障害者への理解啓発活動を行っています。情熱と努力が生む力強い演奏、魂の響きを皆さまにお届けします。</p> </div> 
13:00～14:15	<p><b>式典</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 児童憲章朗読</li> <li>● 倫理綱領唱和</li> <li>● 全国保育協議会 表彰</li> <li>● 全国保育士会 感謝状贈呈 等</li> </ul> <p>(休憩15分)</p>
14:30～15:15	<p><b>行政説明</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● こども家庭庁成育局保育政策課(予定)</li> </ul>
15:15～15:55	<p><b>基調報告</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 全国保育協議会 会長</li> <li>● 全国保育士会 会長</li> </ul> <p>(休憩20分)</p>
16:15～17:15	<p><b>記念公演</b> しげちゃん一座による絵本&amp;トークライブ</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>女優、声優、エッセイスト等として豊かな才能をみせる室井滋さんは、絵本作家としても活躍されており、2011年に絵本「しげちゃん」(作・室井滋 画・長谷川義史)の発売を機に、「しげちゃん一座」を結成しました。女優、絵本作家、ミュージシャン、マジシャンなど、個性が豊かなメンバーによる贅沢なライブをお楽しみください。</p> <p>【メンバー】</p> <p>室井 滋(むろいしげる)氏 (文・朗読・うた・鍵盤ハーモニカ)              長谷川義史(はせがわよしふみ)氏 (イラスト・朗読・うた・ウクレレ)              岡 淳(おかまこと)氏 (サクソフ・フルート・篠笛)              大友 剛(おおともたけし)氏 (ピアノ・マジック・朗読)</p> </div> 
17:15～	次期開催地(石川県)あいさつ
17:30	初日終了

日 程

分科会の内容

参加申し込みについて

**第2日 11月21日(金) 10:00～16:00(9:30受付開始)**

※第11分科会(開催地企画)はスケジュールが異なります(6ページ参照)。

- ≫ 分科会は、全保協の令和5～7年度の3か年で設定された「共通研究テーマ」による意見発表を中心に研究・協議する分科会(第1～5分科会)と、全国保育士会の分科会(第6～10分科会)、開催地企画による分科会(第11分科会)、さらにはフリー発表分科会(第12分科会)で構成します。
- ≫ 全保協の分科会については、各分科会の発表数を「午前2発表と午後2発表」とし、第2・3・4分科会では「午前と午後の分科会(会場)移動を可能」としております。  
※第1・5分科会は午前・午後の移動はできません。
- ≫ 全国保育士会分科会(第6～10分科会)については、助言者の指導のもと、それぞれの発表者が執筆した『研究紀要』を、実践研究として発表する分科会となります。  
※全国保育士会分科会(第6～10分科会)の午前・午後の移動はできません。  
※第11・12分科会については、他分科会への移動はできません。
- ≫ **分科会会場ごとに参加定員を設定し、先着順で受け付けます**(\*)。お申込みにあたっては、異なる分科会を第3希望までご記入ください。第3希望までのご記入がない場合や、一つだけの分科会を記入し、当該分科会が満員の場合は、定員に空きのある他の分科会に割り振る場合がありますので、あらかじめご了承ください。

(注) 受付は、参加申込を受付した順に、名鉄観光サービス(株)(旅行代理店)から返信する申込完了メールの受信をもって受付完了といたします。

※「全保協 将来ビジョン」およびビジョンにもとづく「共通研究テーマ」については、全国保育協議会のホームページでご確認いただけます。



「全保協 将来ビジョン」



「共通研究テーマ」

		テーマ	
第1分科会	(AM) 新たな時代の保育実践 ～すべての子どもにむけて～	(PM) 組織マネジメント・認定こども園等について (運営：全国保育協議会)	
第2分科会	(AM) 配慮を必要とする子どもや家庭への 支援にむけて	(PM) 保育者の資質向上を図り、保育現場の魅力を 発信する	
第3分科会	(AM) 子どものより良い育ちと安全・安心の環境づくりに むけた関係機関とのネットワーク	(PM) 地域の子育て家庭への支援の充実にむけて	
第4分科会	(AM) 家庭や地域との連携による食育の推進	(PM) 保育の社会化にむけて～保育の営みをいかに 社会に発信するか～	
第5分科会	公立保育所・公立認定こども園等の使命と地域社会での役割		
第6分科会	子どもの発達と環境		
第7分科会	配慮を要する子どもへの保育		
第8分科会	保育のなかの食育		
第9分科会	保育所・認定こども園等における保護者支援・地域における子育て支援		
第10分科会	専門性の向上をはかる取り組み		
第11分科会 (開催地企画分科会)	子どもはなぜ劇遊びを楽しみ歌うのか～伝統芸能から考える日本人に受け継がれるDNA～ (運営：東京都社会福祉協議会保育部会・東京保育士会)		
第12分科会	フリー発表分科会 (運営：全国保育協議会・全国保育士会)		

## 第1分科会

※午前・午後の移動はできません

会場：  
ベルサール飯田橋 HALL (A+B)

**AM** 新たな時代の保育実践～すべての子どもにむけて～

(講義・意見発表・演習)

■ 助言・指導／北野 幸子氏 (神戸大学大学院 教授)

**PM** 組織マネジメント・認定こども園等について

(運営：全国保育協議会)

■ ※制度動向等を踏まえ、令和7年度大会運営委員会等で内容・講師を企画します。

## 第2分科会

※午前・午後の移動可

会場：  
TKP市ヶ谷 ホール7A

**[2-A] AM** 配慮を必要とする子どもや家庭への支援にむけて

(講義・意見発表・演習)

■ 助言・指導／安梅 勅江氏 (筑波大学 教授)

**[2-B] PM** 保育者の資質向上を図り、保育現場の魅力を発信する

(講義・意見発表・演習)

■ 助言・指導／矢藤 誠慈郎氏 (和洋女子大学 教授)

## 第3分科会

※午前・午後の移動可

会場：  
TKP市ヶ谷 ホール5B

**[3-A] AM** 子どものより良い育ちと安全・安心の環境づくりにむけた  
関係機関とのネットワーク (講義・意見発表・演習)

■ 助言・指導／倉石 哲也氏 (武庫川女子大学 教授)

**[3-B] PM** 地域の子育て家庭への支援の充実にむけて

(講義・意見発表・演習)

■ 助言・指導／山縣 文治氏 (大阪総合保育大学 特任教授)

## 第4分科会

※午前・午後の移動可

会場：  
TKP市ヶ谷 ホール5A

**[4-A] AM** 家庭や地域との連携による食育の推進

(講義・意見発表・演習)

■ 助言・指導／堤 ちはる氏 (相模女子大学 教授)

**[4-B] PM** 保育の社会化にむけて～保育の営みをいかに社会に発信するか～

(講義・意見発表・演習)

■ 助言・指導／猪熊 弘子氏 (駒沢女子短期大学 教授/ジャーナリスト)

全保協将来ビジョン カテゴリーⅦ 子育て・子育てを支援する仕組みをつくる

**第5分科会**

※午前・午後の移動はできません

会 場：

TKP市ヶ谷バンケットホール8B

**公立保育所・公立認定こども園等の使命と地域社会での役割**

(講義・意見発表・演習)

■ 助言・指導／園田 巖 氏 (東京都市大学 准教授)

**第6分科会**

会 場：飯田橋レインボービル

**「子どもの発達と環境」**

助言者

社会福祉法人真生会理事長  
白百合心理・社会福祉研究所所長  
青木 紀久代 氏

健康な心と身体をめざして

富山県 魚津市立経田保育園  
魚津こども園

松田 愛梨 氏 四十万 真由美 氏

内面を育むかかわり

～慣らし保育でつくる安心感～

京都市 京都市保育士会

吉川 有希 氏 内藤 幸枝 氏

**第7分科会**

会 場：家の光会館

**「配慮を要する子どもへの保育」**

助言者

一般社団法人親と子どもの臨床支援  
センター 代表理事  
帆足 暁子 氏配慮を要する子どもの心に寄り添う保育をめざして  
～エピソード記録を通して一人ひとりを大切に保育を考える～神奈川県 神奈川県保育会保育士部会  
保育内容研究会

二宮 詩歩 氏 木下 孝実 氏

支援の必要な子どもと保護者の理解促進について  
～大分県でのレーダーチャートシステムの活用～

大分県 大分県保育会研究部会

佐藤 健章 氏

**第8分科会**

会 場：研究社英語センタービル

**「保育のなかの食育」**

助言者

上越教育大学大学院  
学校教育研究科 教授  
野口 孝則 氏

保育者の関わりによる子どもの食に対する意識の変化

栃木県 社会福祉法人戸祭保育園  
ナーサリースクールとまつり

武田 茜 氏 川又 美沙紀 氏

日々の保育から食育を考える

～いいね！シート(観察シート)を通して～

神戸市 神戸市立保育所保育士会

足立 智子 氏 小倉 圭裕 氏

**第9分科会**

会 場：飯田橋レインボービル

**「保育所・認定こども園等における  
保護者支援・地域における子育て支援」**

助言者

大阪総合保育大学大学院  
教授  
大方 美香 氏

より良い保護者支援に求められる支援員の支援方法

愛知県 社会福祉法人天白福祉会めばえ保育園  
上野 温子 氏 岡田 美苗 氏

家庭に寄り添い、

信頼される保育園をめざして

高知県 江ノ口保育園 大篠保育園

福井 加枝 氏 下八川 さおり 氏

**第10分科会**

会 場：飯田橋レインボービル

**「専門性の向上をはかる取り組み」**

助言者

文京学院大学 学長補佐(教職課程改革担当)  
教職課程センター長 教授  
同大学大学院 兼任教授  
椋島 香代 氏暮らしを大切に0歳児から5歳児までのオープン保育  
— 子どもの育ちを捉える —山形県 社会福祉法人上郷保育会上郷保育園  
齋藤 志津 氏 菅原 友美 氏

乳幼児の口腔機能発達を支える保育の取り組み

～口腔機能評価の在り方を探る～

岡山県 岡山県保育協議会保育会 給食研究部

勇 佳子 氏 樺山 貴美江 氏

## 第11分科会 (開催地企画分科会)

### 「子どもはなぜ劇遊びを楽しみ歌うのか ～伝統芸能から考える日本人に受け継がれるDNA～」

(運営：東京都社会福祉協議会保育部会・東京保育士会)

■ 講師／岩下 尚史 氏 (作家、日本文藝家協会会員、國學院大学客員教授 等)



ごっこ遊びに劇遊びや歌遊び、いつの時代も、子どもたちは演じること、歌うことを夢中になって楽しんできました。

そうした「芸能」といったもののなかには、老いも若きもなく、毎日を営むこと、生きることと何か不可分なものが潜んでいるように思えてなりません。

そこで、日本の伝統芸能に造詣が深く、テレビやラジオなど数々のメディアで活躍される岩下尚史氏をお招きし、伝統芸能がいかに庶民のなかに根付き、なぜ劇や歌がこうも人を魅了するのかをテーマにお話しいたします。

続けて午後はチャーター船で隅田川を下り、船上にて江戸・東京の街並みとその歴史、由来等のお話を伺いながら、その背景にある市井の人々の営みを学びます。

#### ■ タイムスケジュール (予定)

10時	受付開始
10時30分～12時	講演 (飯田橋セントラルプラザ)
12時～13時45分	休憩・各自移動
13時45分	乗船場集合 (浅草)
14時～16時	隅田川クルーズ
16時	解散 (日の出棧橋)

※ご参加には、大会参加費とは別に、別途分科会参加費として10,000円(税込)が必要です(乗船料金を含む)。

※午後の隅田川クルーズについて、気象状況等の都合により船の運航が中止となる場合がございます。万が一中止となった場合は、実費を差し引いた金額を後日ご返金いたします。なお、開催地分科会は旅行契約には該当いたしません。

※午前中の講義の後、休憩及び移動時間を設け、午後は指定の乗船場に再集合いただきます。クルーズ中の食事提供はありませんので、各自昼食休憩を取っていただき、公共交通機関で乗船場まで移動いただきます(移動に係る交通費は自己負担)。

※タイムスケジュール含め、分科会の詳細、申込にあたっての注意事項等については、本大会の特設ページ等でご確認の上、お申し込みください。

※特設ページURL: <https://www.zenhokyo.gr.jp/lp/lp-1237/>

## 第12分科会 フリー発表分科会

>>>希望者による自由なテーマの意見発表を聴くことができる分科会です。

>>>終日 (10:00～16:00)にわたり、多様なテーマによる発表が行われます。

※フリー発表に関する詳細は、全保協ホームページもしくは全国保育士会ホームページの特設ページよりご確認ください。

#### 【フリー発表分科会で発表をご希望される方】

>> 発表のお申込みについては全保協もしくは保育士会のホームページにある本大会特設ページを必ずご確認のうえ、申込書をダウンロードください。

>> 申込書をご記入のうえ、全保協・全国保育士会事務局あてにメールにてお申込みください。



#### ■ 概要

●発表日時：令和7年11月21日 (金) 10:00～16:00 (予定)

●会場：飯田橋レインボービル

●発表時間：1テーマあたり25分程度 (研究発表：20分、質疑応答：5分)

●募集内容：保育・子育て支援に関する研究発表

●応募条件：応募時に全国保育協議会会則第4条に定める会員に所属する関係者、全国保育士会会員に関する規程第2条に定める会員に所属する関係者、または、保育・子育て支援に係る行政関係者であること

●参加費：発表者各自のご負担 (大会参加費)

●応募締切：令和7年7月14日 (月)

全国保育協議会および全国保育士会では、令和5年度より都道府県保育協議会・保育士会からの申請\*に基づき、都道府県庁に対し「処遇改善等加算にかかる認定研修実施主体」の申請を行っています。

\*指定都市がある都道府県は、指定都市保育協議会等と調整のうえ申請

都道府県が「処遇改善等加算にかかる認定研修実施主体」として、全国保育協議会・全国保育士会を認定した都道府県にある「認定こども園」においては、全国保育協議会・全国保育士会が実施する研修を受講した時間を、認定研修の修了すべき研修時間のなかに積算することができます。都道府県の認定状況についてはそれぞれ全国保育協議会・全国保育士会のホームページをご確認ください。

なお、上記の取り扱いは「認定こども園」のみが対象となります。

## 全国保育協議会・全国保育士会「保育活動専門員」認定制度について

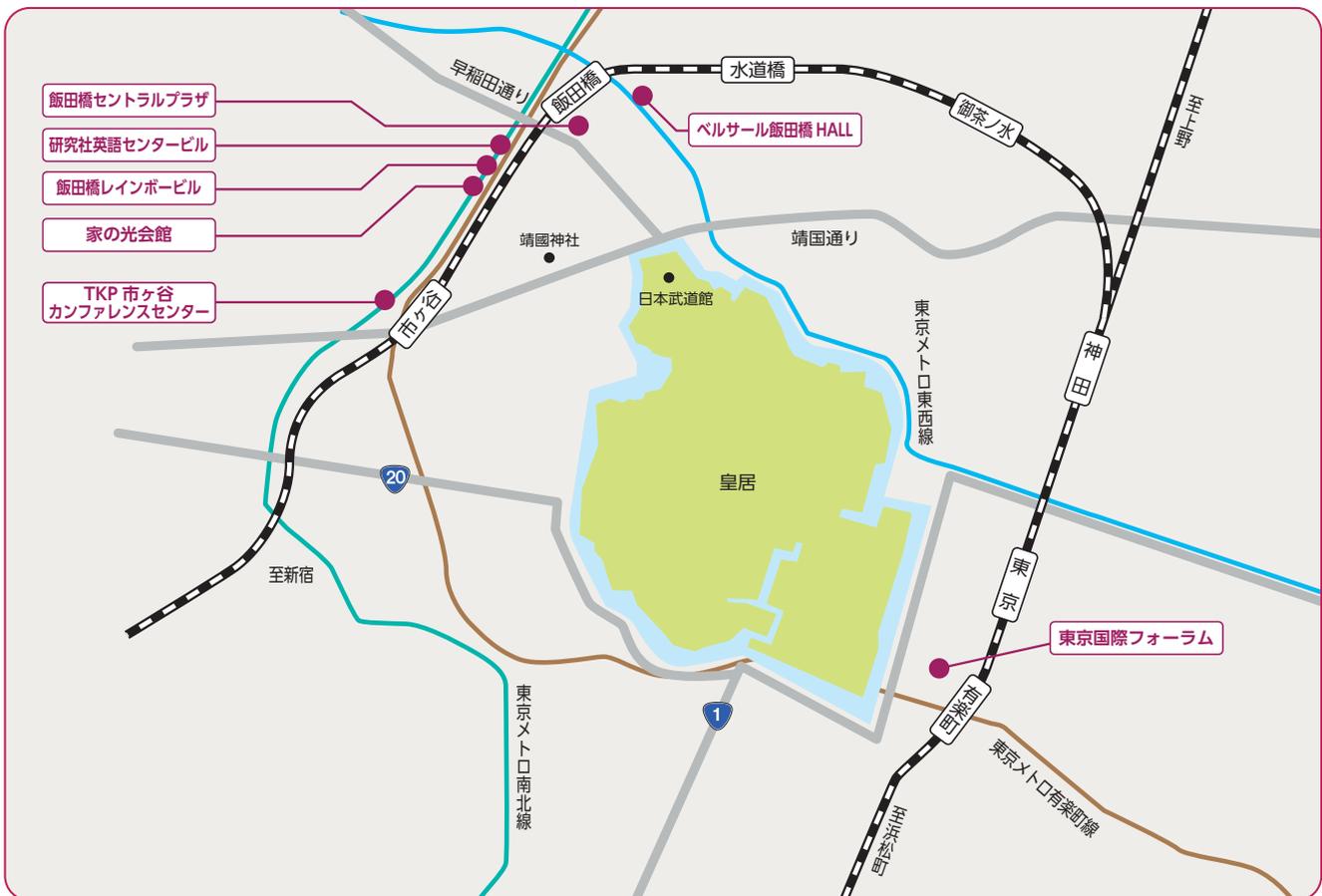
全国保育協議会および全国保育士会では、主催する大会・研修会に参加し研鑽をされている方を対象として「保育活動専門員」として認定し、申請にもとづいて認定証を発行しています。これまでに、1,888名の方が認定を受けられています。

本制度では、大会・研修会に参加することで得られる参加ポイントと、大会等で発表を行った方に加算される発表ポイントを設定し、一定数以上のポイントとレポートを提出することによって認定証を取得することができます。本大会の参加者等にも下記のポイントが付与されます。

\*「保育活動専門員」認定制度の実施要項は会報4月号に同封してお送りしています。また、全保協のホームページにも掲載していますので、ご覧ください。

**本大会は「保育活動専門員」認定制度の対象研修会です。[参加により取得できるポイント 100ポイント]**

\*上記100ポイントに加え、第1～10分科会(第1分科会の午後を除く)発表者には200ポイント、フリー発表分科会発表者には50ポイントが加算されます



\*上記地図の路線図はJRのみとなっています。この他、地下鉄もございますので、ご確認のうえ、あわせてご利用ください(地下鉄のほうが比較的混雑状況に余裕があります)。

## 参加申し込みについて

下記「参加申込サイト」よりお申込みください

URL <https://www.mwt-mice.com/events/kyoikuhoiku2025>

▶ **参加登録のお申し込み締切 令和7年 9月30日 (火)**



- 申込完了後、24時間以内に、登録されたメールアドレス宛に申込完了メールを送信しますので、必ずご確認ください。  
※お使いのパソコン等でセキュリティのためメールの受信拒否設定をされている方は、@mwt.co.jpドメインからのメールが受信できるようあらかじめ設定してください。
- 申込完了後、10月10日(金)を目途に参加費等振込のご案内をメール送信します。  
※締切日までの変更・取消は参加者ご自身にて申込サイトで変更等の操作をしてください。  
※締切日以降の変更・取消は、名鉄観光サービス(株)MICEセンターまでご連絡ください。  
※参加費入金後の参加取消は、原則として返金対応を致しかねます。  
※なお、締切日以降の参加取消については、参加費の入金の有無にかかわらず、参加費が発生いたしますので、あらかじめご了承ください(資料送付をもってかえさせていただきます)。  
※体調不良等により、本大会に参加できなかった場合は、資料の提供をもってかえさせていただきます。参加費のご返金はいたしません。
- 参加費のご入金確認後、開催1~2週間前を目途に最終のご案内をメール送信いたします。
- 最終のご案内メール内容をご確認いただき、お申込者自身で参加券等をダウンロードのうえ、大会当日、会場受付にご提出ください。

### 留意事項

#### ■個人情報の取り扱いについて

個人情報については、本会の「個人情報保護に関する方針等について」にもとづいて取り扱います(個人情報の保護に関する方針は全保協のホームページに記載しております)。参加申込の際に登録された個人情報は、本大会の運営・管理の目的に限って使用します。

なお、本大会のお申込み受付等に関する業務を名鉄観光サービス(株)MICEセンターに委託し、実施するため、上記目的の範囲で情報を共有します。

#### ■事故防止および公衆衛生のための措置

主催者として大会開催にあたり、事故防止および公衆衛生のための以下の措置を講じます。

- ・来場者に有事の際の避難経路を確認していただくこと。
- ・体調のすぐれない方の来場を控えていただくこと。

#### ■必要な配慮について

手話通訳希望や車いす利用に関する配慮が必要な方は、参加申込サイトの備考欄にご記入のうえお知らせください。

### 問い合わせ先

#### ■申込に関するお問い合わせ

名鉄観光サービス(株)MICEセンター

〒100-0013 東京都千代田区霞が関3-3-2 新霞が関ビル

TEL. 03-3595-1121(受付時間:平日10:00~17:00) / FAX. 03-3595-1119

#### ■大会の内容等に関するお問い合わせ先

全国保育協議会/全国保育士会 事務局(全国社会福祉協議会 児童福祉部 内)

〒100-8980 東京都千代田区霞が関3-3-2 新霞が関ビル4階

TEL. 03-3581-6503 / FAX. 03-3581-6509